

執拗に圧力

象外としました。同町教委は、有志から東京書籍版の現物寄付を受け、12年度から配布しています。

当初、東京書籍版の使用を容認していた文科省ですが、安倍自公政権の成立後、「竹富町は違法」とする見解に転じ、執拗に同町への圧力を繰り返しています。

子ども伸び伸び

「是正要求」に対し同町教委は3月24日、教科書変更に応じない方針を確認しました。慶田盛安三教育長は「竹富の子どもたちは、伸び伸びと楽しく学校生活を送り、学力だって全国平均を上回っている。何も問題は起こっていない。文科省の介入は、かえって混乱を招く」と批判します。

慶田盛教育長の手元には、多くの付箋を貼って読み込まれた教科書がありました。「いま求められているのは、一人ひとりの子どもに合った教育。現場の意見も聞かず、公平・公正を欠いて選ばれた教科書を採択できるはずがない」

(つづく)

東電と国の責任 裁判で訴えたい

福島「原発と人権」集会閉会

福島市の福島大学で開かれた「第2回「原発と人権」全国研究・交流集会 in 福島」が6日、分科会での討論と集会アピール採択を行い閉会しました。



全国各地の原発訴訟原告団が交流した分科会。6日、福島市の福島大学

こと伝えられなかったこと。人類は核と共存できない。脱原発と核兵器廃絶・国際ネットワーク、分科会で約530人が討論しました。

「被害者訴訟原告団・みんなて交流」の分科会では、福島原発事故で被害を受け、国と東京電力に現状回復と完全賠償を求める全国各地の原告団が交流。現在、5000人以上の被害者が13万所の裁判所に提訴し、今後増える予定です。

南相馬市から神奈川県に避難している、かながわ原告団の女性は「いつ帰れるのか。桜の季節だが、花見をする気持ちになれない。東電と国の責任を裁判でうんとしゃべりたい」とせつせつと訴えましました。

各地の多彩な取り組みが報告されました。最多の2600人が参加する「生業（なりわい）を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟の原告団は、模擬裁判・報告集会、パレード、訴状の本作成など活発に活動。裁判時に託児を引き受ける「サポーターズ」（関西原告団）など訴訟支援の組織づくりも進んでいます。公書訴訟の原告や弁護士もまたかこの経験を活かすべし、原発訴訟原告団を激励しました。

全体会で参加者は「失われた人権の回復を求め続け」ていくとともに、「脱原発」の運動との連携を深め、国際的な連携・共同の中で原発問題の解決を考えていく」との「集会アピール」を採択しました。

品は、明治中期のフィリピンのマニラで、スペインからの独立運動とアメリカの介入に直面する、独立を支援する志士、娼婦と彼女ら

青風舎

トル

澤地久枝
北御門二郎

「戦争は如何なる美名をつけて、戦争に荷担する（分長への書状）本書は御門二郎と、平和を戦争と平和、九条を生

沖繩に根ざし、
新たな文化の創造を目指す
喜納育江編著
沖繩ジェンダー学
①「伝統」へのアプローチ

グローバル

資本主義

中川スミ子 フェミニンダー、女性雇用、賃金「思想」など女性研究者の女性労働論

震災復興

人間の復興

農業の大規模集抗し、被災者の上げている。暮

戦争は

稀代の

鳥越俊太郎

羽柴 修

農の再

食の安

小山良太・小松知